

1 基本	2 ローン
3 設計	4 仕様見積り
5 インテリア	6 アフターメンテナンス

家具配置によって変わる
インテリアイメージ



完成イメージ

Weekly HABITA 071

上の写真は、ソーラーパネルを導入することで家庭で使用するエネルギーを全てまかなうSMART HABITA ZERO・YENです。発電による売電収入で、建設費ゼロを目指しています。夏の方が日差しも強く、一番発電しそうですが、実は春が最も発電量が多くなるようです。

桜の咲く季節が近づくと、新生活を始める人や、気分を一新するために模様替えをする人もいでしょう。家具の配置を少し変えるだけでも部屋の印象はずいぶん変わります。

今回は家具配置によって変化するインテリアのコーディネートポイントを、HABITA「みんなの家」から学んでみましょう。

連載

キニナルマドリ
くらのニュース
住まい文化の栞
住まいは楽まい
住まいのオーダーメイド館403
住健住康
庭の話

家具配置によって変わる インテリアイメージ

住まいのカタチは家具や家電の進化とともに成長してきました。たとえば、キッチンの変化だけを見ても周りに置く家具の形状や配置は大きく変わってきました。戦後間もない昭和20年頃は、土間の台所が主流でした。食事をするスペースとして「茶の間」と呼ばれる空間にちゃぶ台があり、その他に置家具はほとんどありませんでした。これは、ふすまを外して隣接する部屋などと繋げ、さらに大人数が入れるような空間にしたり、時には応接間になったりと、日本家屋の特性を活かすためです。用途によって変化できるよう簡単に移動できる家具しか置いていませんでした。

キッチンやダイニングという言葉が主流になるのは、ステンレスの流し台が普及してからです。昭和31年に公団晴海団地に取り付けられたことから、一般

家庭に広がります。従来の「茶の間」は食事室兼台所となり、ダイニング・キッチンのスタイルは、ちゃぶ台を椅子とテーブルのセットに変えたというだけではなく、ダイニングとキッチンが家庭のメインステージへと押し出されていったのです。部屋数も増え、間取りを変化させる必要性がなくなったため、ダイニングには食器棚などの大物の置家具が増えていきました。ステンレス流し台の普及とともに、冷蔵庫や炊飯器などの家電製品も家庭に浸透しました。

昭和40年代後半になると、システムキッチンが登場します。多様なキャビネットやユニットによって並び替えが自由で、好きな色やデザインが選べる使いやすいシステムキッチンは、家を建てる時、奥様が最もこだわる箇所でもあります。システ

ムキッチンと同様に、多くの機能機器商品も進化を続けてきました。冷凍冷蔵庫、電子レンジ等の調理加熱機器、食器洗浄乾燥機、浄水器、生ごみ処理装置などが、家事の効率をあげるとともに快適な住空間づくりと、より豊かな住生活を演出しました。現在のリビング、ダイニング、キッチンが一室になった間取りが主流になったのも、このシステムキッチンの登場による影響が大きいのです。

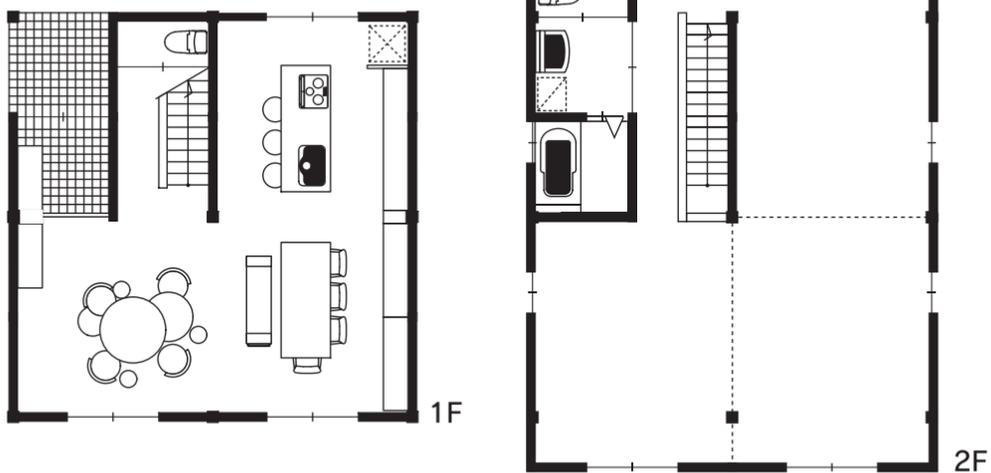
HABITA「みんなの家」の1階部分はリビング、ダイニング、キッチンのみで構成されています。廊下と呼ばれる部分がなく、玄関を入るとすぐにみんなの顔が見える、いわゆるワンルームです。こうした空間をカフェと位置付けています。間仕切りがないため、このような空間では家具の配置、椅子の置き方ひとつで使い方が変わります。たとえば、ダイニングの椅子をリビング側に背を向けて配置すれば、それぞれが独立した使い方に。ダイニングの椅子を両側から使えるようなベンチタイプにすれば、ひとつの空間としての繋がりが生まれます。

見本



家具配置によって変わる インテリア イメージ

(図1)



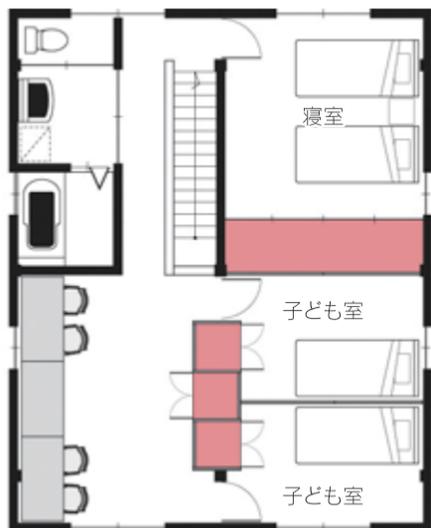
壁ではなく家具で仕切る

インテリアのコーディネートで欠かさないのは家具ですが、この家具が収納と間仕切りの両方の役割を担っていれば、間取りまで自由に変わります。HABITA「みんなの家」の2階部分は、一見何も無い空間と思われがちです。(図1) 一般的な間取り図と言われるものには、個室が何部屋あるのかがわかるようになっているので、余計にそう感じるでしょう。この違いは、部屋を壁で仕切るか、可動間仕切り収納で仕切るかの違いにあります。HABITAの家の間取りは、構造体を第一に考えて設計されています。丈夫な柱と梁があって、地震に有効な耐力壁を必要なだけ設けたら、それ以上に内部に壁をつくる必要はありません。もちろん、壁で仕切ることもできますが、部屋数を増やすために壁をつくることはコストがかかるばかりか、家族構成や暮らし方の変化などに柔軟に対応することができなくなります。

家具で仕切れば 間取りは自由に

HABITAの可動間仕切り収納「パーティションキャビネット」は、梁や柱を上手に活用しながら、収納のための箱状の棚を設置します。この箱状の収納棚に扉を取り付けることで仕切りとしての家具となります。もちろん、両側に扉をつければ、どちらからも使える収納になります。この方法を応用すれば、間取りのバリエーションが広がります。例えば夫婦の寝室を広く、みんなで勉強できるカウンターが欲しい場合はこのような間取りが考えられます。(図2)

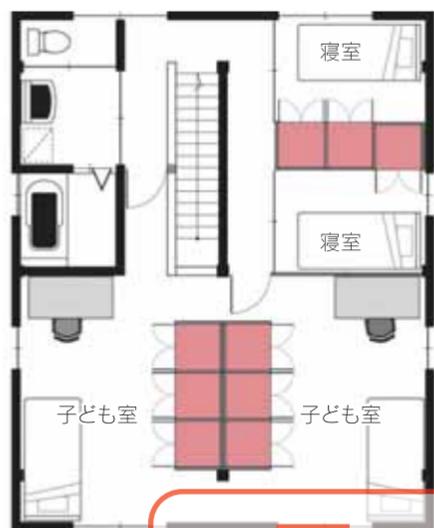
(図2)



子ども部屋は各4帖半ほどですが、寝るだけのスペースと考えれば充分でしょう。

夫婦の寝室を別々にしたい場合はこのようになるでしょう。

(図3)



子ども部屋は広くなり兄弟や姉妹なら扉も付ける必要はないかもしれません。(図3)

木のインテリアに合う 扉のデザイン

パーティションキャビネットの扉は、箱状の収納棚と独立して取り付けすることもできます。あらかじめ梁の下部分に切り込みのラインを入れておきます。これにより、梁の位置によってはウォークインクローゼットも可能になります。扉の種類は3種類で、いずれも現しの木のインテリアに調和するようデザインされたものです。木製の扉は「柀の木」の突板で木目の配置にもこだわっています。木目が工業的にならないよう、より自然な配置手法のランダムマッチとしています。

オレフィンの扉は純白色で、キャビネットの背板の部分にも同じ素材が使われています。扉部分も、背面も、漆喰を塗った壁と並べても見劣りすることがありません。



テキスタイル(布張り)の扉は富士吉田の先染め伝統工芸の富士山織です。HABITAオリジナルの染色と織りの工夫によって、立体感のある生地が生まれ、光の反射によって濃くも淡くも見える表情豊かな仕上がりです。これらの扉を組合せて変化を付けるのも、インテリアコーディネートのお楽しみが生まれます。全て富士山織りにすれば落ち着いた雰囲気的空間に。全てオレフィンにすれば、壁の延長線という視覚的効果で、実際よりも広く感じます。こうした可変性の高いインテリアを実現する目的から生まれたパーティションキャビネットは、2009年度のグッドデザイン賞を受賞しています。

2012年 インテリアのトレンド

(財)日本ファッション協会流行情報センター(JAFCA)によると、昨年のインテリアカラーのトレンドは、木質のブラウン系、淡いグリーンとブルー系バリエーション、光と陰影を表現する白とグレー、漂白されていないグレー、ベージュ、アクセントにはマゼンタ(明るい赤紫色)が注目色となっていました。

ブルーが求められる背景には、21

世紀最初の10年が終わり、次の10年が始まる2011年に向けて再スタートする現在の世相を反映して、漠然とした未来やあこがれ、不安な状態などから、空の色をイメージするブルーが求められる傾向にありました。全体にカラーを積極的に楽しく使って行く方向にあり、その一方で、スキンカラー、甘い(シュガリー)トーンの色合いや、天然繊維の白なども注目されました。

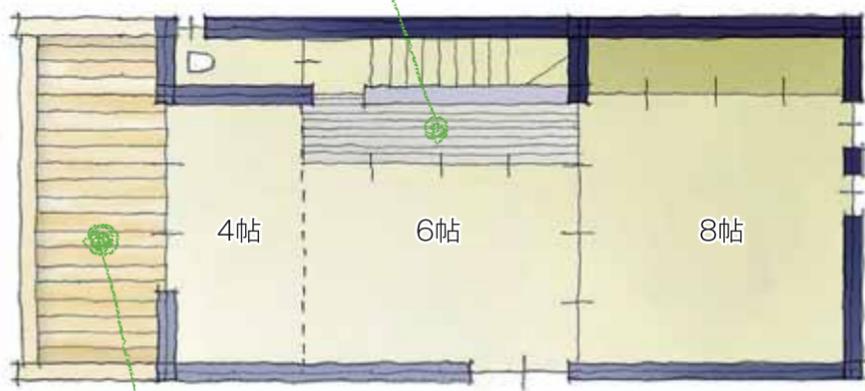
2012年はカラーを使う傾向は続きながらも、ちょっと抑え目に、大人な感じでありながら、手触りなど質感や柄、光の効果、アクセントカラーなどを加味して表現していく方向にあるようです。また、クラシックなラインでは、石造りのヨーロッパの古い家にあるインテリアや調度品に、現代のセンスで“魔法をかける”ことが提案されています。さらに、新しいエコロジーカラーとして、イエロー、ゴールド、オレンジ、ブラウンが要注目です。家具のトレンドで言うと、木という素材は既に定番になり、サイズはコンパクトなものが主流になるようです。マルチ機能を持ち、遊牧民的ライフスタイルに合うような家具も増加傾向にあり、これらは言い換えれば、可変性の高い家具ということでしょう。

キニナルマドリ 京民家

HABITA 京匠

格子床は上下階の繋がりを生み、天窗からのやわらかな光を1階まで届ける。

2階

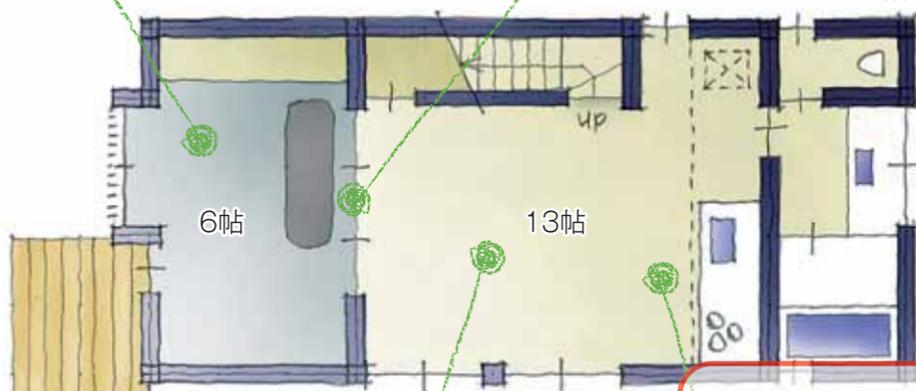


テラスは家の間口いっぱいの広さで使い勝手が良く、外観デザインも美しい。

6帖の三和土スペースは、地域と家族のコミュニケーションの空間。

自然の光と影、木のインテリアに柔らかく調和する、手漉き和紙の建具。

1階



間仕切りを開け放せば、三和土と繋がる、まるで古民家のような間取り。

キッチンには、いつでも目隠しができる建具が備え付け。

見



■ 建築場所:京都市左京区 ■ 敷地面積:32坪 ■ 建物面積:1階14坪 2階11坪 延25坪 ■ 建設企業:HABITA 京匠(フラットエージェンシー)

NEWS 暮らしのニュース

住宅エコポイント、再開 被災地の復興支援を重視した内容に

住宅エコポイントは、省エネ性の高い住宅(右図の①②いずれかに該当する)を新築したり、エコリフォームをすると、省エネ商品などと交換できるポイントがもらえる制度です。当初の予算枠に達する見込みとなったため、平成23年7月31日までの着工または工事着手分まで打ち切られました。

しかし、第3次補正予算成立後、住宅エコポイントが再開することになりました。東日本大震災の被災地における住宅取得支援の狙いもあるため、被災地に手厚い制度となっています。新制度の主な内容とこれまで実施されていた制度との相違点などを確認してみましょう。

今回再開される住宅エコポイントは、被災地の復興支援を重視する内容が変わっています。そのため、名称も「復興支援・住宅エ

コポイント]になっています。エコ住宅の新築では、従来は一律30万ポイントが与えられたところ、被災地は30万ポイント、被災地以外の地域では15万ポイントとなります。一方、エコリフォームは従来通り上限30万ポイントで、耐震改修やリフォーム瑕疵保険加入によるポイントが加わりました。新築よりもリフォームで、手厚い内容となっています。

また、ポイントを交換できる商品が「環境」と「被災地支援」に重点化され、「被災地支援」にポイントの半分以上を充当することが条件になります。残りのポイントは即時交換およびエコ商品と交換ができますが、全国で利用できる商品券やプリペイドカード、被災地以外の地域特産品や地域商品券などは、交換対象から外れています。

工事対象期間は、平成24年10月31日までに着工または工事着手したものです。ただし、エコ住宅の新築は平成23年10月21日から、リフォームは平成23年11月21日から着工または工事着手したのについて対象になる点に注意しておきましょう。

今回の住宅エコポイントの最大の狙いは、被災地の復興支援にあります。このことを忘れずに上手にポイントを活用してもらいたいものです。

復興支援・住宅エコポイントの概要

ポイント発行対象及びポイント数	<p>●エコ住宅の新築の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災地は30万ポイント ・被災地以外は15万ポイント 太陽熱利用システム設置の場合、2万ポイント加算 <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①省エネ法のトップランナー基準相当の住宅 ②省エネ基準(平成11年基準)を満たす木造住宅
	<p>●エコリフォームの場合</p> <p>工事内容に応じ2,000~10万ポイント(上限30万ポイント※)</p> <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓の改修工事、外壁、天井・屋根または床の改修工事 併せて以下の工事等を行う場合はポイントを加算 <p>バリアフリー工事: 上限5万ポイント/耐震改修工事: 15万ポイント※ 省エネ住宅設備の設置: 2万ポイント/リフォーム瑕疵保険加入: 1万ポイント ※耐震改修工事はポイントを別途加算(上限45万ポイント)</p>
ポイント交換対象商品	<p>省エネ・環境配慮商品、環境寄付、被災地への義援金・寄付、追加工事への即時交換、被災地の産品・製品、被災地の商品券等 ※「被災地支援」にポイントの半分以上を充当</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>発行ポイント</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>→</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>即時交換およびエコ商品との交換</p> <p>発行されるポイントの1/2まで交換することができます。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>+</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復興支援商品との交換</p> <p>発行されるポイントの全てを交換することもできます。</p> </div> </div>
工事対象期間(着工または工事着手)	<p>●エコ住宅の新築の場合 平成23年10月21日~平成24年10月31日</p> <p>●エコリフォームの場合 平成23年11月21日~平成24年10月31日</p>

被災地一覧

青森県: 八戸市、三沢市、上北郡おいらせ町、三戸郡階上町
岩手県(全域): 盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、奥州市、二戸市、八幡平市、奥州市、岩手郡磐石町、同郡葛巻町、同郡岩手町、同郡滝沢村、紫波郡紫波町、同郡矢巾町、和賀郡西和賀町、胆沢郡金ケ崎町、西磐井郡平泉町、八幡郡住田町、上閉伊郡大槌町、下閉伊郡山田町、同郡若泉町、同郡田野畑村、同郡普代村、九戸郡軽米町、同郡野田村、同郡九戸村、同郡洋野町、二戸郡一戸町
宮崎県(全域): 仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、刈田郡蔵王町、同郡七ヶ宿町、柴田郡大河原町、同郡村田町、同郡柴田町、同郡川崎町、伊具郡丸森町、直理郡直理町、同郡山元町、宮城県松島町、同郡七ヶ浜町、同郡利府町、黒川郡大和町、同郡大郷町、同郡富谷町、同郡大衡村、加美郡色麻町、同郡加美町、遠田郡涌谷町、同郡美里町、牡鹿郡女川町、本吉郡南三陸町
福島県(全域): 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、伊達郡桑折町、同郡国見町、同郡川俣町、安達郡大玉村、岩瀬郡鏡石町、同郡天栄村、南会津郡下郷町、同郡檜枝岐村、同郡只見町、同郡南会津町、同郡北塩原村、同郡西会津町、同郡磐梯町、同郡猪苗代町、河沼郡会津坂下町、同郡湯川村、同郡柳津町、大沼郡三島町、同郡金山町、同郡昭和村、同郡会津美里町、西白河郡西郷村、同郡泉崎村、同郡中島村、同郡矢吹町、東白川郡棚倉町、同郡矢祭町、同郡塙町、同郡鮫川村、石川郡石川町、同郡玉川村、同郡平田村、同郡浅川町、同郡古殿町、田村郡三春町、同郡小野町、双葉郡広野町、同郡楡葉町、同郡富岡町、同郡川内村、同郡大熊町、同郡双葉町、同郡浪江町同郡葛尾村、相馬郡新地町、同郡飯館村
茨城県(守谷市、結城郡、八千代町、猿島郡境町、同郡五霞町を除いた地域): 水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎町、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、東茨城郡茨城町、同郡大洗町、同郡城里町、同郡東海村、久慈郡大子町、稲敷郡美浦村、同郡阿見町、同郡河内町、北相馬、郡利根町
栃木県: 宇都宮市、足利市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、芳賀郡益子町、同郡茂木町、同郡市貝町、同郡芳賀町、塩谷郡高根沢町、那須郡那須町、同郡那珂川町
埼玉県: 久喜市
千葉県: 千葉市、銚子市、市川市、船橋市、松戸市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、八千代市、我孫子市、浦安市、印西市、富里市、香取市、山武市、印旛郡酒々井町、同郡栄町、香取郡多古町、同郡東庄町、山武郡九十九里町、同郡横芝光町
新潟県: 十日町市、上越市、中魚沼郡津南町
長野県: 下水内郡栄村

三澤 千代治の 住まい文化の 葉

床の間に礼節を知る

住まいの中でも、最も日本的な情緒を感じさせるところは、床の間をしつらえた和室ではないだろうか。掛け軸が掛けられ、香炉や花入れが置かれ、違い棚にはしかるべき飾りものがある。

こうした床の間の様式美について、谷崎潤一郎も『陰翳礼讃』の中で次のように書いている。「もし日本座敷をひとつの墨絵に喩えるなら、障子は墨色の最も淡い部分であり、床の間が最も濃い部分である」床の間を「日本独自の粹」として高く評価している。畳や障子がかもしだす雰囲気と、床の間の織りなす陰翳は、日本人にとって心の平安をもたらしてくれるもの。大事な訪問客をもてなす場としての座敷にあって、床の間は最高の演出装置といえるだろう。

訪問客には、床の間に近い上座に案内し、迎える側は下座につく。

床の間はもともと高貴な方が座る特別な場所として位置づけられていたもので、それが上座、下座の発想へと受け継がれていったのだろう。あるいは右に座るか、左に座るかでも意味は違ってきて左大臣、右大臣の格付けが生まれる。

このように日本家屋では上座、下座のように空間の横の広がりにはじめがあるのと同様に、上下の空間にもはじめがある。長押、鴨居の上は神が住む神聖な空間であり、下は人間が住む空間とされた。だから、長押や鴨居にはいい材料が使われたし、仏壇や神棚が鴨居の上に置かれた。

2階建て、3階建て住宅がどんどんつくられるようになり、神棚の上に2階が載ったり、さらにトイレがつくられたりするのは、空間の上下関係を重んじた考えからすると、もつてのほかということになるのだろう。もつともそれ以上に、最近では神棚や仏壇が家の中から姿を消してしまっていることも問題なのだろうが。

住まいは 巢 まい

父親の存在

父親は子どもにとっては保護者であり、指導者としての役割を果たす。子どもや家族に何かトラブルや問題が起きたときの悪いケースばかりではなく、日頃から父親の判断や解決能力への信頼感が子どもにも生まれるようになれば理想的だ。

父親は、また子どもの最良の友達でもある。子どもと一緒に何かをつくったり、同じ趣味に親しむことも父親の大切な役割だ。最近ではテレビゲームで親子が競いあうという家も多いようだが、アトリエやガレージや庭でもっといろいろな遊びが親子でできるはずだ。

そして、父親も一人の男。何かの趣味に一人きりで徹底的にこだわりたい、というときもきつと多いだろう。そのような時、隠れ家スペースがうってつけた。「デン」(den=洞穴、隠れ家という意味の英語)と呼ばれる隠れ家で少年に戻ったように目を輝かせている父親は子どもたちには新鮮に映るはずだ。

同じ理由から父親は書斎を欲しがるとは思えない。しかし望ましいのはドアをつ

けない書斎だ。居間などと続きの部屋にして、その居間から書斎をのぞくと机の前に座っている姿がよくわかるようにする。ガラス張りというより、空気張りだからもつと通い合うものがある。

これは、父親が仕事をしている姿を、子どもたちに見せたいと

いう希望からつくられたもので、それも教育と考え、家の中で実践してもらいたい。



住まいの オーダーメイド館

Rパワー手摺システム

ステンレス手摺が施工現場で自由に曲げて設置できる。それがR(レーリング)パワー手摺システムです。

欲しくても価格面であきらめていた、ステンレスパイプ手摺が低

価格で購入できるようになりました。ステンレスパイプ手摺の価格が高いのは、材料費が鉄に比べ非常に高価であることと、加工の難しさが大きく関わっています。ステンレスパイプ手摺は鉄(軟鋼)と比べ硬く、粘りがあるため、専門の機械加工がこれまで必要でした。

「簡単に加工でき、短時間で取り付けられ、もつと価格を下げる」

を解決したのが、Rパワー手摺システムです。

専用曲げ治具でつぶれることなく、現場で早く、安く組立できます。建物の形状に合わせてくれるため、住宅から大規模施設までその活用される範囲が広がっています。

材質:ステンレスSUS304
価格:ご相談
403掲載商品G-0311_005



住まいのオーダーメイド館 403
東京都新宿区新宿1-2-1-1F
http://order403.com/

403

検索

住 健 住 康

じゅうけんじゅうこう

HEMS育児相談情報付き住宅

三世代同居のすすめを盛んに説いてはいるが、したくてもできない人は多い。地方出身者は故郷に親がいるケースが多いし、同居しようと呼び寄せても、住みついたところからお年寄りも離れたがらないものだ。また、そんなに離れていなくても、家の広さなどから同居できないケースもある。核家族が良いとは思わないまでも、核家族化を余儀なくされている場合は多い。

しかし、核家族の場合の心配は、やはり子どもが生まれてからの育児に関する知識の乏しさだろう。育児テキストはそれこそ山のようにあるが、頭ではなかなか覚えられないものではないし、いざというときの役には立たないケースが多い。子育ての経験者、おばあ



ちゃんの知恵、アドバイスがどうしても欲しいのである。赤ん坊が泣き止まない、火傷をしたなど、ただオロオロするだけの若い母親の姿が最近では増えている。

「住まいは子どものために」というのが、HABITAの理念の一つである。前回、紹介したHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)を活用した健康情報サービスで、ぜひ実現したいものに育児相談情報がある。たとえば、テレビ電話で親、子、孫のコミュニケーションをとりながら育児の相談をする。母子手帳もシステムに組み込んでおけば、予防接種のお知らせや、様々なアドバイスも受けられるだろう。早く、育児相談情報付き住宅を実現したいものだ。



人間はもともと森の人

森林の中にいると不思議と心が落ち着きます。

最近のゲノムの研究でわかったことなのですが、人間とチンパンジーの遺伝子は98%まで同じなのです。人間に最も近い動物であるチンパンジーは樹上生活をします。とすれば、われわれ人間にも森の中で生活していた頃の記憶が、深く刻まれていても不思議はありません。ですから、庭には樹木が欲しくなるし、太い木の柱のある家に憧れるのではないのでしょうか。

世界にはさまざまな民族がさまざまな場所で生活していますが、その住まいを調べてみると、8割は木の住まいであるといえます。鉄筋やコンクリートの建物は先進国の人々にとっては

身近なものです。世界的にみれば、少数派だということです。世界の主流はやはり木の住まいなのです。

日本人も50年くらい前までは皆、木造の家に住んでいました。木が身近な存在であり、快適な住まいであるからなのだと思います。庭にも木が必要な訳です。

